



発行人 福島県教職員組合  
発行所 福島市上浜町10-38 電話024-522-6141  
〔定価一部 20円〕  
編集・責任者 瀬戸 禎子  
e-mail: ftukyoso@poplar.ocn.ne.jp  
http://www.f-t-u.or.jp  
(この購読料は組合費に含まれています。)

ろうぎんのキャッシュカードなら  
ATMお引き出し手数料が  
**実質 0円**  
ご利用手数料はいったんご負担いた  
だく場合がありますが、即時キャッ  
シュバックいたします。  
東北労働金庫

# 集まって話したい! やっぱり交流しなくちゃ 各専門部大会・総会 オンラインで開催!



女性部…6/18 事務職員部…6/25  
養護教員部・栄養教職員部・青年部・障がい児教育部…7/2

21年度に引き続き、コロナ禍での参加者への配慮から、各専門部大会・総会は、オンラインで開催しました。各専門部で抱える課題や職場の悩みなど、仲間と共感し、共有することができました。オンラインではありましたが、交流することの大切さを改めて感じました。出された意見は、秋の県教委交渉や専門部交渉に活かしていきます。

## 女性部

- コロナ禍でも各支部で様々な学習・交流会を実施。(アロマキャンドル、生け花、フラワーアレンジメント、コミュニケーションスキル等)
- 養護教員や事務職員等の一人職が妊娠した場合の代替措置の必要性を痛感。中学校体育代替のような制度を!
- 初任研が大変。研究授業だけでなく報告書作成等でも苦労している。負担軽減を!



オンライン開催だからこそ、今まで参加できなかった仲間のみなさんの参加があり、様々な意見をいただきました。

## 養護教員部

- フッ化物洗口を中止していたが、再開することになってしまった。希釈や消毒に多くの時間がかかるのに、「ボトルの本数を増やして」と担任から要望される。危険性も含め、理解されないことが多い。
- 給食業務、保健室登校対応など、健診と並行して行っている。同僚と話すどころか、座る時間すらないこともある。
- 校務支援システム導入による負担増。出欠入力には養護教員の仕事なの???



## 事務職員部

- 共同連携実施を導入した本来の目的が分かっていない管理職がいる。過重労働にならないようにしたい。町村またぎの問題も出てきている。
- 給食費に対する補助や無料化が進んできている。事務職員の業務が煩雑になることも事実。公会計化を進めていくべき。
- 支部で集まれなかったため、情報共有ができなかった。



2面に  
続く!

## 栄養教職員部

- このところの暑さで調理室での業務が大きな負担。老朽化施設の改善が急務。
- 給食費の補助に関する業務が煩雑になり、食教育に専念できない。公会計への移行を進めてほしい。
- 食教育でもICTを活用したいが、栄養教職員にはタブレットが支給されていない。早急に支給してほしい。



## 専門部大会・総会つづき

### 障がい児教育部

- 小学校の自閉症・情緒学級では、一人ひとりの学力差が大きく、担任一人で指導するには限界がある。支援員等のサポートが必要。しかし、通常学級でも支援員を必要としている。もっと人が欲しい。
- 中学校の自閉症・情緒学級の悩みは、教科指導と進路指導。免外の指導は基本的にできない。進路も個人の特性・学力が異なるので、とても困る。

### 青年部

- 初任研と学校行事が重なり、初任研優先になってしまふことがある。学級を離れるのがつらい。
- 「若い」ということでICT担当に。世代間のギャップに戸惑っている。
- 人事評価を気にしてやりたいことを我慢する青年がいる。評価を気にせず、挑戦してほしい。
- 小規模校なのに職員間の連絡調整がうまくいかない。長時間働く人が「偉い」という雰囲気があるが、納得できない。



## 学校現場の働き方について、本当の実態を文科省へ！

給特法7条が改正され、2年が経過しました。改正された結果、どの程度時間外勤務時間の短縮が実現しているかを調査するため、今年8月、10月、11月に文部科学省が教員勤務実態調査を実施する予定です。日教組では、6月17日、文科省へ精確な勤務時間把握を求めました。特に、確認した内容は次の通りです。

- ① 土日を含めた連続する7日間の実態調査となる。時間外勤務時間も含めて把握する仕組み。
- ② 休憩時間は、実際に休憩できた時間を分単位で記載する。
- ③ 休日出勤、部活動も時間外在校等時間として記載する。

今回の教育新聞と一緒に、分会掲示ポスターを配布します。ぜひ、掲示してください。  
福島県内でも、抽出で実態調査が行われる予定です。調査の対象となったみなさん、今後の働き方改革につながるよう、精確な実態を記載してください。若い世代の仲間が定年まで働けるような職場をつくるために、文科省に学校現場の実態を届けましょう。



## 青年層の声を県教組へ！

～青年部アンケートを実施します～



「やる事がいつも山積み。夜遅くまでやっても終わらない…。」  
 「『若いんだから』と言われても、できないことってあるんだけど…。」  
 「ひとり職だから、職場で困ったときに相談できる人がいなくて…。」  
 「コロナウイルスの影響っていつまで続くのかな…。」  
 「定年延長？ このまま働き続けていけるのかな…。」



多くの青年層が悩みや思いを抱えながら、毎日を過ごしていることと思います。青年層の働き方について多くの声を集め、年末の県教委交渉などにおいて取り組んでいきたいと思ひます。

- ・こちらの二次元コードにアクセスし、回答してください。分会名や氏名の入力任意です。
- ・組合員はもちろんのこと、まだ組合に加入していない青年層にも、分会で積極的に声をかけて回答してもらってください。組合加入のひとつのきっかけとなるかもしれません。
- ・対象は35歳以下の方です。
- ・回答締め切りは、**9月10日(土)**とします。多くの声を寄せてください！



# 学校でか! Monster



## みんなのひろば

### ～暑い夏限定～



福島のお酒が、全国新酒鑑評会にて金賞受賞数9回連続日本一になりましたね! 今年の夏も福島のお酒が熱いです。

金賞を受賞した会津中将さんの夏限定酒といえば、金魚ラベルの夏吟醸。軽やかな甘味とほのかな苦味、低アルコールで夏にぴったり。

天明の花火のラベルも夏らしいですね。さらさら純米の名前通り、サラサラと飲みやすい一杯です!

新型コロナウイルス感染症の第7波といわれていますが、夏の一杯でおうちでも涼しくリフレッシュできそうです。



### 第44回日教組東北ブロック 青年教育労働者研究集会

日時 8月20日(土) 12:45~

会場 パルセいざか(講演会) あづま荘(分散会・交流会)

内容 震災から11年 福島(双葉支部)の これまでといま(仮) ※8月21日(日)は双葉地域の被災地フィールドツアーを予定しています(任意参加)

申込メ切: 7月29日(金)

電話または、チラシの参加申込用紙のFAXにてお申込み

### 第35回日教組東北ブロック カリキュラム編成講座

日時 8月27日(土) 13:00~

会場 対面開催: 福島県教育会館 サテライト: いわき教育会館

講演会 「学校」をつくり直す 講師 苫野 一徳さん ~子どもたちが自由に生きたいように生きられるようになるための力を育む~

申込メ切: 8月5日(金)

### TOPPA塾 教員採用試験 二次試験対策講座

日時 9月3日(土) 17:30~19:30

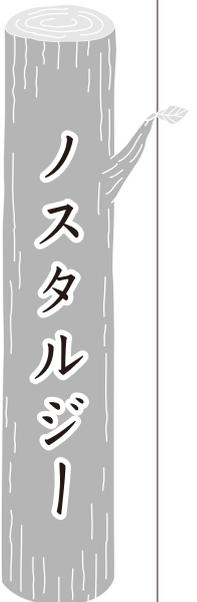
会場 オンライン

内容 小論文・面接・模擬授業の対策講座を行います! 組合員の方受講料無料 ※組合未加入の方は受講料2,000円です。

申込メ切: 8月26日(金)

チラシ二次元コード or FAXでお申込み

## 今回のテーマは「つながるII」



世の中どんどん便利になった。携帯電話・カーナビ・ネット：きりが無い。半世紀前から比べると夢のようだ。効率化・合理性、ムダがないようにと世の中が動いてゆく。もちろん学校にも、子どもたちにもその波は押し寄せている。でも、本当に全てがそれでよいのだろうか?

先日軽トラを運転した。いつもはオートマなので、アクセルを踏めば快適に走ってくれるが、マニュアル車の軽トラはそうはいかない。クラッチをどのくらい離せばうまくつながるのか。車との対話が必要だ。そう簡単に言うことを聞いてくれない。何回かエンストを経験するうちに呼吸が合うようになってきた。日差しは強かったが、窓を全開にしてAMラジオのボリュームを上げた。

このシチュエーションは遠い昔を思い出させた。ぼくは荷物運びのアルバイトをしていた。もちろん当時はナビなどないから、相棒と地図を広げて一軒ずつ探り当てる。一方通行、狭い曲がり角、行き止まりなど難敵は多く、手間と時間のかかることとあったら。遠回りだけど、この道から行った方が楽だし早い。地図にはないけどここは曲がれて近い。この橋ワゴンはダメ。ぼくらはいろんな人から情報をもらった。友だち、配達先の住人、通りすがりの人。地図は書き込みでいっぱいになった。全部face to faceの情報だ。顔が見えて温かさが沁みだ。あんなに面倒くさかった地図を広げて家を探し配達に行くことが、楽しくなった。相棒と最適ルートを見つけて、ドンピシャの時にはガッツポーズだ!

ぼくが教室で大事にしたのは、このころに知ったface to faceだ。だから感じられる人の温かさだ。人と触れ合うことは、面倒くささもある。でもそこから分かるものは大きい。不便利だからこそ工夫もし、人にも頼った。それによって五感も研ぎ澄まされていった。

働き方改革をはじめ学校にはたくさん問題がある。それを解く鍵は、face to faceではないか。本当に必要なことを見極めたい。

「僕が僕であるために勝ち続けなきゃならない。正しいものは何なのか。それがこの胸に解るまで」ラジオからは尾崎の歌が流れていた。ぼくは、軽トラとの面倒くさい、不慣れた対話が楽しくなりながら走らせていた。

(K・J)

期間 令和4年6月1日(水)~8月31日(水)

# 福島夏満喫プラン

平日大人1名様 1泊2食(税・サ込)

13,200円  7,200円  
宿泊利用助成後

土・祝前日・8月13日~8月15日は、プラス1,000円

## 特典!

### ご夕食時に県産お肉

・県産黒毛和牛

・麓山高原豚

・川俣シヤモ

### の三種盛付き

プラスお飲み物1杯サービス♪

オススメ! お子様・おいちゃんおばあちゃん歓迎!

## 家族旅行プラン



期間 令和4年7月1日(金)~8月31日(水)

平日大人1名様 1泊2食(税・サ込)

宿泊利用助成後

12,500円  6,500円

土・祝前日・8月13日~8月15日は、プラス1,000円

小人1名様

1泊2食(税・サ込)

宿泊利用助成後

子供膳 7,500円

キッズプレート 6,500円

4,500円

3,500円



・お子様には桃グミ

・大人の方にはお飲み物サービス

・さらに、ご希望者全員に花火をプレゼント♪



※ 宿泊利用助成とは

公立学校共済組合福島支部・福島県教職員互助会又は  
福島県職員共助会の宿泊利用助成の事です

ご予約・お問合せは

桃花の里  
飯坂温泉

### あづま荘

福島市飯坂町字中ノ内1-1

TEL 024-542-3381